

英語科学習指導案

呉市立阿賀中学校

指導者 田口芳美

DariusVukasinovic

- 1 日 時 平成24年9月18日(火) 第6校時 14:25~15:15
- 2 学年・学級 1年2組(男子18名,女子19名 計37名)
- 3 単元名 Lesson 5 Our New Friend from India
NEW CROWN ENGLISH SERIES 1(三省堂)

4 単元について

単元観

本単元は、久美たちの学校・クラスにインド出身のラージが新しく加わり、相手のことや先生について等互いに質問し合いながら、交流を深めていくといった内容である。その言語材料として、主には疑問詞 who, where, when, whose で始まる文(疑問文と応答)で、人称代名詞の目的格 him, her も取り扱う。学習指導要領では、第2節2内容(3)言語材料 Ⅰ 文法事項(ア)文の「d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞(how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの」を受けて設定している。Yes か No かで答えられる質問から、聞きたいことをより具体的に、より様々に、相手にたずねることが可能となりうる単元と言える。

生徒観

本学級の生徒は、男女ともに明るく元気である。人前で発表することをあまり臆さず、楽しんでやろうとする生徒が比較的多い。中にはおとなしく控え目な生徒もいるが、発問や形態を工夫して発表の機会を増やしたり、ペアワーク等で練習した後、自信をつけさせてから全体の場で発表させるなど、学習や授業への意欲を高める取組を続けている。その結果、9月にとったアンケート調査によると、「英語の勉強が好き」および「英語の授業はよく分かる」の肯定的評価はそれぞれ86%、81%と学習意欲や授業に取組む意識は割と高い。しかし、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4領域において、「書く」という領域が一番好きと答えた生徒が47%いるものの、一番苦手と答えている生徒が44%と割合的に一番多い。次いで、「話す」が苦手と答えた(41%)生徒も多い。小学校の外国語活動時の様子も前担当者から聞きながら取り組む必要がある。

指導観

疑問詞 who を使った疑問文と応答を導入して使えるようにするために、「Who ~?」をできるだけ自然なシチュエーションで使えるよう活動を仕組み、その中で、生徒がよく知っている人物、あまり知らない人物、両方の写真を効果的に使いたい。また、疑問詞 where, when を使った疑問文と応答文の導入時には、JTE と ALT が自分の好きなスポーツや趣味などを話題にして、生徒に紹介するなどしながらまずは多量に聞かせて Input したい。その後、ペアワークなどの言語活動を通して、繰り返し実際に使う機会を与え Output できるようにする。そして、人称代名詞の目的格 him, her に関しても、一度話題に出た人物について使うことをしっかり理解させ、スピー

チ活動やまとまりのある英文の中で実際に使わせるような機会を意図的に設定していきたい。

5 単元の目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・新しく学んだ表現を用いて、積極的にコミュニケーションを図る。	・新しく学んだ表現を用いて、たずねたり適切に答えたりする。 ・代名詞を使ってまとまりのある内容の文を書く。 ・登場人物らしく対話文を音読する。	・まとまりのある対話文や英文を聞いたり、読んだりして、その内容を理解する。	・who, where, when の疑問文や、目的語で使われる代名詞(him/her)の文の形・意味・用法について理解する。

6 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語・文化に対する知識・理解
聞くこと			(1)相手の伝えようとする情報を正しく聞き取ることができる。	
話すこと	(1)間違ふことを恐れずに、積極的に質問し合う会話に取り組んでいる。	(1) who, where, when, whose を使って、相手にたずねたり、適切に回答することができる。		(2) who, where, when, whose の疑問文や、目的語で使われる代名詞(him/her)の文の形・意味・用法を理解している。
読むこと		(2)登場人物らしく対話文を音読できる。	(2)教科書本文の英文の内容について正しく読み取ることができる。	
書くこと	(2)間違ふことを恐れずに、積極的に自分の考えを書こうとしている。	(3)目的語で使われる代名詞(him/her)を使って、まとまりのある内容の文を書くことができる。		

7 指導と評価の計画（全9時間）

次	学 習 内 容	ア	イ	ウ	エ	評 価 規 準	評価方法
1 本 時	Get Part 1 Who ~ ? (疑問文と応答) の導入, 理解, 練習 (T. T. with ALT)					(1) who を使って相手にたずねたり, 適切に応答することができる。	活動観察 (後日イン タビュースト)
2	Get Part 1 本文の内容理解・音読練習					(2) 登場人物らしく対話文を音読で きる。 (2) 教科書本文の英文の内容につい て正しく読み取ることができる。	音読チェッ ク 活動観察
3	Get Part 2 Where/When ~ (疑問文 と応答) の導入, 理解, 練習(T. T. with ALT)					(1) where, when を使って相手にたず ねたり, 適切に応答することができ る。	活動観察 (後日イン タビュースト)
4	Get Part 2 本文の内容理解・音読練習					(2) 登場人物らしく対話文を音読で きる。 (2) 教科書本文の英文の内容につい て正しく読み取ることができる。	音読チェッ ク 活動観察
5	Get Part 3 代名詞・目的格(him/her) の導入, 理解, 練習					(1) 目的語で使われる代名詞 (him/her)を用いた文の形・意味・用 法を理解している。	ワークシー ト
6	Get Part 3 本文の内容理解・音読練習					(2) 登場人物らしく対話文を音読で きる。 (2) 教科書本文の英文の内容につい て正しく読み取ることができる。	音読チェッ ク 活動観察
7	We're Talking 5 Whose ~ ? (疑問文と応 答) の導入, 理解, 練習					(1)間違うことを恐れずに,積極的に質 問し合う会話に取り組んでいる。	活動観察
8	Start Reading My Treasure					(2)間違うことを恐れずに,積極的に自 分の考えを書こうとしている。 (1) 相手の伝えようとする情報を正し く聞き取ることができる。	活動観察 ワークシー ト
9	単元のまとめ					(1) who, where, when, whose の疑問 文の文の形・意味・用法を理解し ている。 (3) 目的語で使われる代名詞 (him/her)を使って,まとまりのあ	単元テスト

						る内容の文を書くことができる。	
--	--	--	--	--	--	-----------------	--

8 本時の展開（第1次）

(1) 本時の目標

who を使って相手にたずねたり，適切に応答する。

(2) 本時の評価規準

who を使って相手にたずねたり，適切に応答することができる。【イ(1)】

(3) 準備物

拡大した人物写真，ワークシート，単語カード

(4) 本時の学習展開

	学 習 活 動	指導上の留意事項		評価規準(評価方法)
		T1 (JTE)	T2 (ALT)	
導 入	1 Greeting (あいさつ) 2 Warm-up	・フラッシュカード等 を使い，今日の活動で 使用する単語や表現 を練習させる。	・それらの単語を英文 の中で使用して意味 を理解させる。	
展 開	3 本時の学習目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>who を使って相手にたずねたり，答えたりできる。</p> </div> 4 Oral Introduction 写真を見せ合い，「だれか」を たずねたり，答えたりする。 (who の導入) 5 Practiceto use <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「聞く」「話す」 活動で，慣れさせ る。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・生徒がよく知っているような人物の写真は，最初シルエットで見せたり，部分的に見せたりする。 ・Who ~?というたずね方や答え方をたくさん聞かせる。</p> </div> <p>・たずね方と答え方の 基本パターンを黒板 に貼る。</p>	<p>Who is this (man/ woman/boy/girl)? ---He/She is ~ .</p>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・生徒があまり知らないような人物の写真を見せて， たずねさせる。 ・生徒がよく知っているような人物の写真を一部の生徒だけに見せて，他の生徒にあてさせる。その際，写真を見た生徒には英語でヒントを言わせる。(ALT の手助けあり)</p> </div>		

	<p>6 Individual thinking</p> <p>Group Work</p>	<p>・指示：<u>グループの各自</u>がその人物のヒントとなる英文を考える。話し合っ て良いものを3つ選ぶ。ヒントを出す適切な順番を決める。</p>	<p>・各グループに1枚、有名人の写真を配布。 (他グループに見えないように。)</p>	
	<p>7 Presentation and Activity to use</p> <p><u>Who is he/she?</u></p> <p><u>3 Hints QUIZ</u></p>	<p>流れ(例)</p> <p>A : Hint 1. He is a man. <u>Who is he ?</u> (誰も手が挙がらなかったら) Hint 2. He is from Japan. <u>Who is he ?</u> B : Is he ~? A : No, he isn't. Hint 3. He is a good baseball player. <u>Who is he ?</u> C : Is he ~? A : No, he isn't. Everyone : <u>Who is he ?</u> A : He is ~. (写真を見せる)</p>		
		<p>・3つヒントを聞いても答えが分からなかった時は全員でたずねるよう指示する。</p>		<p>who を使って相手にたずねたり、適切に 応答することができる。 (活動観察) (後日インタビューテスト)</p>
<p>まとめ</p>	<p>9 Consolidation 本時の学習の振り返り</p> <p>10 Homework 宿題の提示と次回の予告</p> <p>11 Greeting (あいさつ)</p>	<p>・who を使ったたずね方と聞き方を確認する。</p>	<p>・1枚の写真を見せる。</p>	<p>(自己評価シート)</p>

本時に、who を使ったたずねたり、答えたりした文を書いて復習できる宿題。次回は教科書本文の中で本時のことをさらに理解する学習だということを予告。